

# KENWOOD

MDレシーバー

## RX-780MD RX-680MD

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、  
説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

**Functional** Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

**EZ** Operation



MDLP

© B64-1761-00 (JW)

Functional  
Operation

Source Selection/Audio Control

Display Control/Menu Set

MD Mode

Tuner Mode

Name Set

EZ  
Operation

Options

Remote Control

**Help** ? Operation Help  
? Word

# Contents

ここを読まなければ操作できない！  
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

## 本書の読みかた

本書の読みかた .....4

安全上のご注意 .....6

使用上のご注意 .....8

ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

## EZ Operation

MD、FM/AM放送、交通情報の聴き方 .....10

リモコンでも操作できるゾ！

## Remote Control

Remote Control(RX-780MDにのみ付属) .....30

Common Operation

Tuner Operation

DISC Operation

電池の入れかた

SBF Operation

思ったとおりに動作しなかったとき  
わからない用語が出てきたら...  
困ったときのお助けページ！

## Help ? Operation

? Word

Help? Operation .....34

Help? Word .....38

付録

## Appendices

取り付け時のご注意 .....40

接続 .....42

取り付け .....44

保証とアフターサービス .....46

仕様一覧 .....47

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

Source Selection .....12  
ソース選択

Audio Control .....12

オーディオコントロール

ラウドネスコントロール

dB EQUALIZER

スピーカーマッチング

交通情報音量設定

Display Control .....16

ディスプレイ表示切り替え

Menu Set .....16

メニューセット

時刻合わせ

日付設定

カレンダーメモ

カレンダーメモスクロール

MD Mode .....22

トラックサーチ

マニュアルサーチ

スキャンプレイ

リピートプレイ

ランダムプレイ

ディスクタイトルスクロール

Tuner Mode .....24

バンド切り替え

チューニング

プリセットチューニング

オートメモリー

マニュアルメモリー

Name Set .....26

ネームセット

オプションも使いこなそう！ オプションズ

# Options

External Disc Control .....28

- ディスクサーチ
- トラックサーチ
- マニュアルサーチ
- トラック/ディスクリピートプレイ
- トラックランダムプレイ
- マガジンランダムプレイ
- トラックスキッププレイ
- タイトル/テキストスクロール

Functional Operation

Source Selection/Audio Control

Display Control/Menu Set

MD Mode

Tuner Mode

Name Set

EZ Operation

Options

Remote Control

Help

# 本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!  
イーザーオペレーション

## EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

## Options

## Help

? Operation

? Word

すぐに使いたかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

マニュアルやディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control] などがあります。

(RX-780MDにのみ付)

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

## 本文でのマークについて



### 共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



### MDの操作

MDをプレイする操作を表しています。



### チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



### 注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



### メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

### 短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



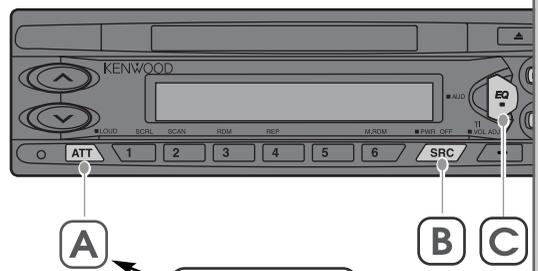
### 1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。

通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。



A

B

C

この辺ボタンABC…  
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

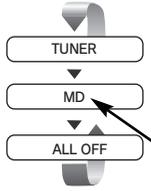
### ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

B



押すたびに次の順で切り替わります。



FM/AM放送を受信

MDをプレイ

電源をオンのままで機能を停止

ディスプレイ表示  
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

内容の説明

表示される文字または内容

### オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

#### 1 オーディオコントロールモードにします

C

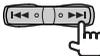


Bass

ディスプレイ表示スクロール  
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

#### 2 設定する項目を選択します

E



Source Selection/Audio Control

Display Control/Menu Set

MD Mode

Tuner Mode

Name Set

Options

Remote Control

Help

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」  
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

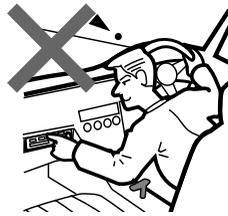
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



## 警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



### 禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



### 禁止

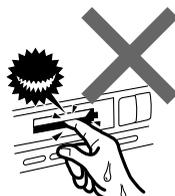
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

## ⚠️ 注意



### 禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



### 禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



### 禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



### 禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすおそれがあります。

# 使用上のご注意

## 本機に接続するCDプレーヤー/ ディスクチェンジャーについて

KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30, RJ-480, RD-380またはRD-360が接続可能です。これらのディスクチェンジャー/CDプレーヤーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## 本機に使用するリモコンについて

本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

## セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.34)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



## リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

## 演奏時間表示について

MDの演奏時間が100分をこえた場合、下2桁までの演奏時間が表示されます。

## データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

## ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## MDのお手入れ

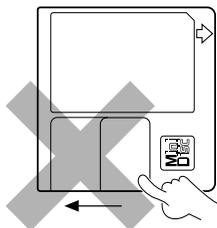
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。

また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

## MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



## 温度について

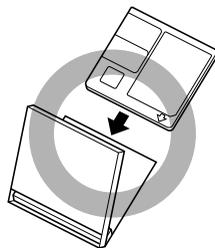
直射日光下で窓を開めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

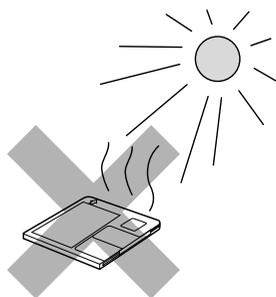
## 保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



## 高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



# EZ Operation

MDのプレイは簡単！ MDを差し込むだけです。



### 電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになり、1秒以上押すと、電源がオフになります。



### MDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、MD、FM/AM放送、ALL OFFに切り替わります。



MDを取り出します



### MDをプレイするときは…

プレイするMDを差し込みます。

MDが入っているときは **MD** インジケーターが点灯します。

RX-780MDでは“MDLP”フォーマットで録音したMDがプレイできます。



音量を上げます。

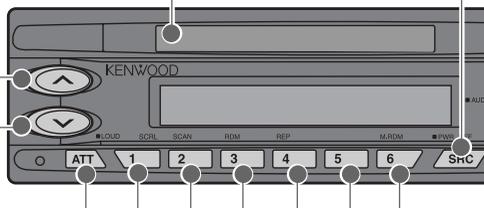


音量を下げます。



### 音量をすばやく小さくします。

もう一度押すか、へボタンを押すと元の音量に戻ります。



### メモリーされている放送局を選びます。

2秒以上押すと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。



安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。



MDの操作



チューナーの操作



共通の操作



プレイする曲を選択します。



受信する放送局を選びます。

**AUTO** 1 インジケーターが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。

**AUTO** 2 インジケーターが点灯時はメモリーされている放送局を番号順に受信します。

**AUTO** インジケーターが消えているときは周波数が1ステップ変わります。

(チューニングモードの設定は16ページをご覧ください)



交通情報の周波数を(1620KHz/  
1629KHz/522KHz) 切り替えます。



FM放送バンド (FM 1/FM2/FM3)  
を切り替えます。

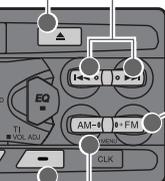


AM放送バンドに切り替えます。



交通情報を受信します。

交通情報を受信中は  インジケーターが点灯します。



Source Selection/Audio Control

Display Control/Menu Set

MD Mode

Tuner Mode

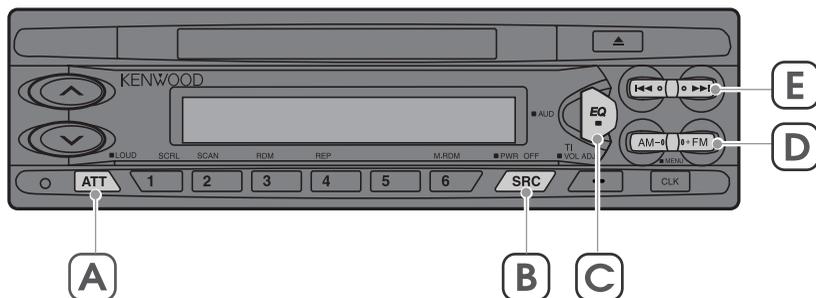
Name Set

Options

Remote Control

Help

# Source Selection / Audio Control



## ソース選択

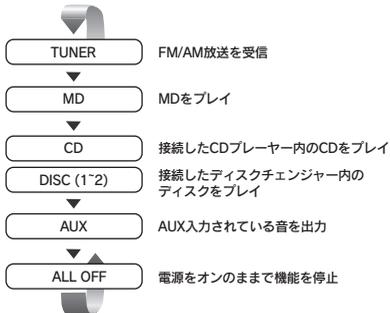
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。

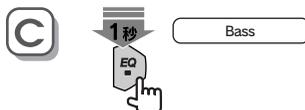


● 別売品KCA-S210Aを接続している場合に“AUX”モードが選択できます。

## オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

### 1 オーディオコントロールモードにします



### 2 設定する項目を選択します



### 3 値を選択します



プレイするソースを選びます。  
また、音質バランスなどを調整します。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bass [バス] (低音の音量レベル)	-8~+8
Mid [ミッド] (中低音の音量レベル)	-8~+8
Treble [トレブル] (高音の音量レベル)	-8~+8
Balance [バランス] (左右の音量レベル)	L[左]15~R[右]15
Fader [フェーダー] (前後の音量レベル差)	R[後]15~F[前]15
OFF SET [ボリュームオフセット] (ソース間のレベル差)	-8~0

- Bass/Mid/Treble/OFF SETはFM放送、AM放送、MD、DISCの各ソースごとに設定できます。
- OFF SET (ボリュームオフセット)は聴く時点での音量に対して、各ソースごとでの音量差を設定しておくことができる機能です。

#### 4 オーディオコントロールを終了します



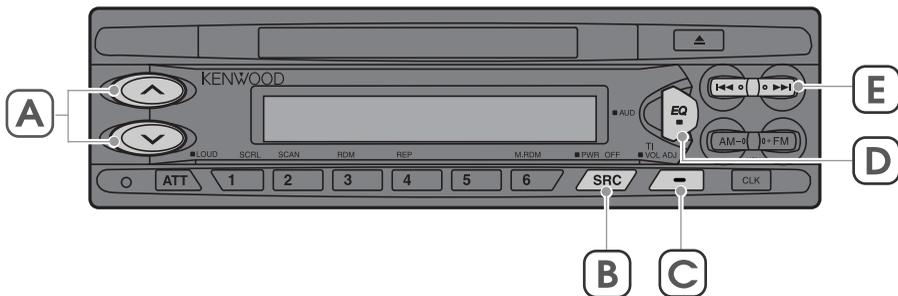
### ラウドネスコントロール

高域音と低域音を強調してメリハリのある音質にします。



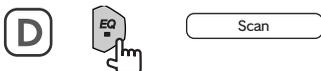
1秒以上押すたびに、ラウドネスコントロールがオン/オフされます。ラウドネスコントロールがオンのときは **LOUD** が点灯します。

# Audio Control



## dB EQUALIZER

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。オンになっているジャンルのインジケーターが点灯します。



- “Scan” を選択中は、5 秒間ごとに “Flat” ~ “Easy” の順で自動的に切り替わります。
- dB EQUALIZERはFM放送、AM放送、MD、DISCの各ソースごとに設定できます。
- dB EQUALIZERの音質設定値は、スピーカーマッチングの設定により変わります。スピーカーマッチングを先に設定してください。

## スピーカーマッチング

音質をスピーカーに合わせて微調整します。

### 1 ALL OFFモードにします



### 2 スピーカーマッチングモードにします



### 3 スピーカーの選択をします



押すたびにスピーカーの設定が以下のように切り替わります。



音質バランスなどを調整します。

## 交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

### 1 交通情報モードにします



### 2 設定したい音量にします



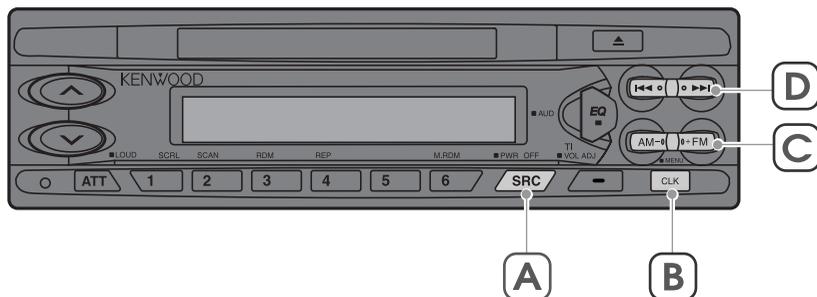
### 3 音量をメモリーします



音量表示が1回点減するまで押し続けます。  
もう一度押すと、交通情報モードは解除されます。

次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

# Display Control / Menu Set

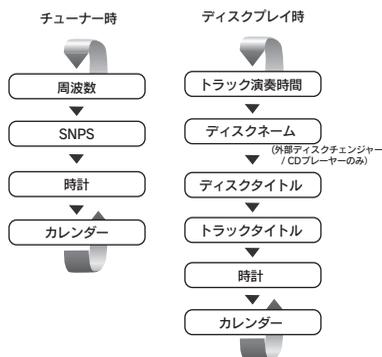


## ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



- MDの演奏時間が100分をこえた場合、下2桁までの表示がされます。

## メニューセット

操作時のピーブ音などの各種の機能を設定します。

### 1 設定する項目があるモードにします



### 2 メニューセットモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

### 3 設定項目を選択します



右表の順番で設定するメニュー項目が切り替わります。

- 設定項目のくわしい機能説明はHelp Word(38ページ)を参照してください。
- 表の条件の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

### 4 設定値を選択します



ディスプレイ表示の設定をします。  
また、本機の各種機能を設定します。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値	条件
Beep (ビープ音)	ON/OFF	—
Clock Adjust (時計調整)	設定の方法は18ページをご覧ください。	—
Date Adjust (日付設定)	設定の方法は19ページをご覧ください。	—
Memo Mode (カレンダーメモ入力)	設定の方法は20ページをご覧ください。	—
Contrast (コントラスト調整)	0 ~ 5 ~ 10	—
Local.S (ローカル受信設定)	ON/OFF	TUNER モード時
Auto/Manual (チューニングモード)	Auto1/Auto2 /Manual	TUNER モード時
Auto-Memory (オートメモリー)	設定の方法は25ページをご覧ください。	TUNER モード時
Mono (モノラル受信)	ON/OFF	FM放送受信 時
Scroll (スクロール設定)	Auto/Manu	—
NAME SET (ネームセット)	設定の方法は26ページをご覧ください。	TUNER/CD /CD-CHモード 時

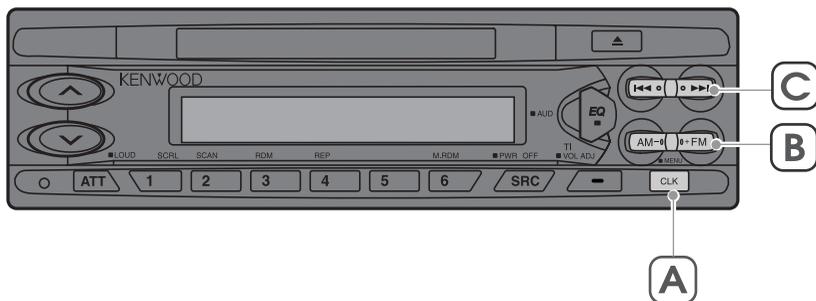
(太字は初期設定値)

## 5 メニューセットモードを終了します

**B**



# Menu Set



## 時刻合わせ

時刻を合わせます。

### 1 メニューセットモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

### 2 時計調整項目を選択します

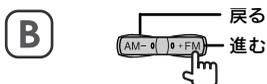


### 3 時刻合わせを開始します

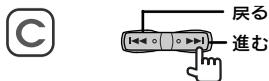


または [ ] ボタンを時計が点滅表示されるまで押し続けます。

### 4 “時” を合わせます



### 5 “分” を合わせます



### 6 時刻合わせを終了します



分を調整した時は、“00” 秒からカウントがスタートします。

時計表示の時刻を合わせます。  
また、日付けを合わせます。

## 日付設定

日付を設定します。

### 1 メニューセットモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

### 2 日付設定項目を選択します



### 3 日付の設定を開始します



◀ または ▶ ボタンを日付が点滅表示されるまで押し続けます。

### 4 設定する項目を選択します



押すたびに、設定できる項目（年、月、日）が切り替わります。点滅中の項目が、設定可能な項目です。

### 5 日付を調整します

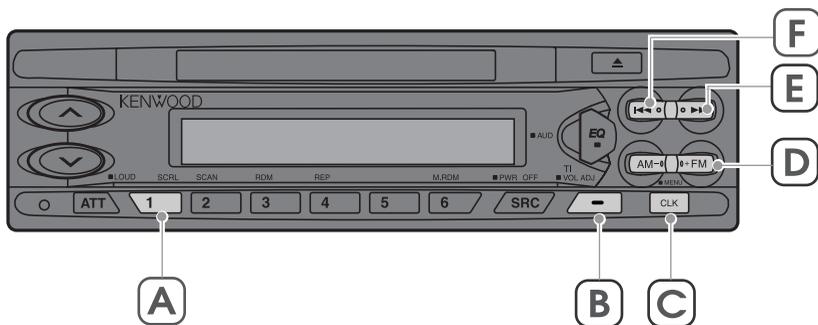


! 年表示は西暦の下2桁を表しています。

### 6 日付設定を終了します



# Menu Set



## カレンダーメモ

電源オン時に表示されるカレンダーメモの設定と表示したい日付の設定をします。

### 1 メニューセットモードにします

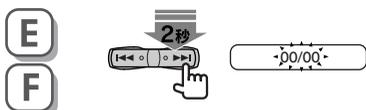


“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

### 2 カレンダーメモ入力項目を選択します



### 3 カレンダーメモ入力を開始します



または ボタンを“00/00”が点滅表示されるまで押し続けます。

### 4 カレンダーメモを呼び出します



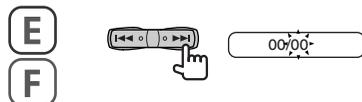
押すたびに、登録されているカレンダーメモが選択できます。

登録できるカレンダーメモは30件です。

### 5 日付入力項目にします



### 6 設定する日付の項目を選択します



押すたびに、設定できる項目（月、日）が切り替わります。点滅中の項目が、設定可能な項目です。

### 7 日付を設定します



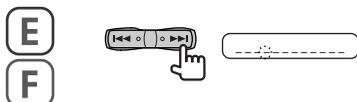
### 8 手順6~7を繰り返して日付を設定します

### 9 メモ入力項目にします



ディスプレイに表示させるカレンダーメモを設定します。

#### メモ入力する位置にカーソルを移動させます



押すたびに、カーソルが動きます。点滅中の位置が、メモ入力可能な位置です。

#### メモ入力する文字の種類を選びます



押すたびに、次の順で切り替わります。



#### メモ入力する文字を選びます



#### 手順10~12を繰り返してメモを設定しま

- 入力できる文字数は32文字です。
- 設定したカレンダーメモを削除する場合は、手順6~8で設定した日付を“00/00”に変更してください。

#### カレンダーメモ入力を終了します



- カレンダーメモで設定された日に本機の電源をオンにすると、入力されているカレンダーメモが表示されます。表示されたカレンダーメモを終了する場合は  以外のボタンを押してください。

## カレンダーメモスクロール

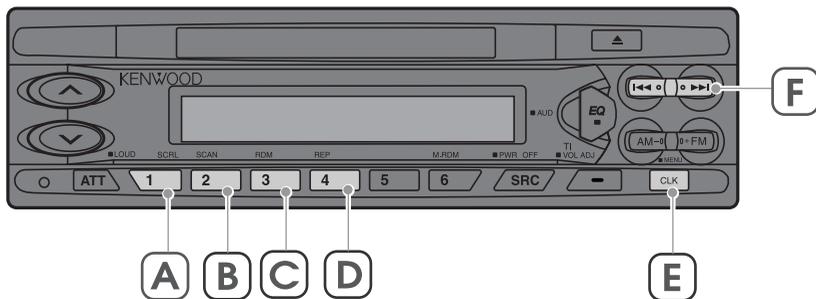
スクロールモードを“Manu”に設定しているときに、カレンダーメモをスクロール表示します。



表示中のカレンダーメモを1回スクロール表示させます。

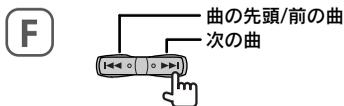
- スクロールモードを“Auto”に選択中は、上記の操作を行うと、カレンダーメモは最初の文字からスクロールを開始します。(スクロール設定の方法は、メニューセット16ページを参照してください)

# MD Mode



## トラックサーチ

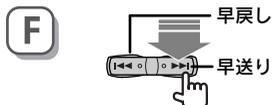
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

## スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

### 1 トラックスキャンプレイを開始します



押すたびにスキャンプレイがオン/オフされます。スキャンプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

### 2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。

MDをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なMDの聴き方はEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

## リピートプレイ

現在のディスクを繰り返しプレイします。



押すたびに、リピートプレイがオン/オフされます。リピートプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

## ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

● を押し、 を押し、次の曲をランダムに選択します。

## ディスクタイトルスクロール

スクロールモードを“Manu”に設定しているときに、ディスクタイトルをスクロール表示します。

### 1 ディスクタイトル表示にします



ディスクタイトル表示を選択します。(ディスクプレイ切り替えは16ページを参照してください)

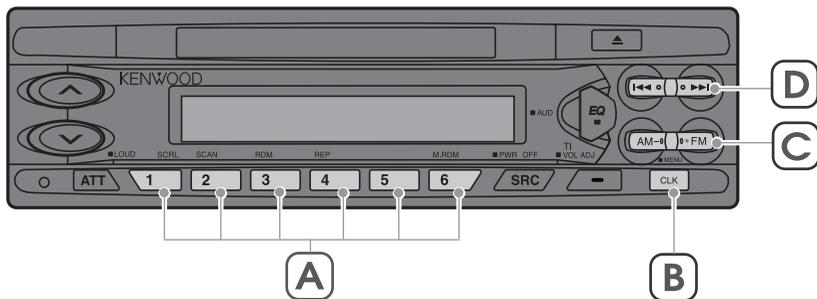
### 2 スクロール表示にします



表示中のディスクタイトルを1回スクロール表示します。

● スクロールモードを“Auto”に選択中は、上記の操作を行うと、ディスクタイトルは最初の文字からスクロールを開始します。(スクロール設定の方法は、メニューセット16ページを参照してください)

# Tuner Mode



## バンド切り替え

FM1、FM2、FM3に切り替えます。



押すたびに、FM1/FM2/FM3の順で切り替わります。

AMバンドに切り替えます。



● バンドインジケータに受信しているバンドが表示されます。

## チューニング

受信する放送局を選びます。

### 1 バンドを選びます



### 2 放送局を選びます



チューニングモードがオート1のとき (AUTO 1 インジケータが点灯しています) 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときには、**MEM** または **PRESET** を押します。

チューニングモードがオート2のとき (AUTO 2 インジケータが点灯しています) メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は24~25ページを参照してください)

チューニングモードがマニュアルのとき 押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードはメニューセット (16ページ) で選択できます。
- FMステレオ放送を受信すると **ST** インジケータが点灯します。

## プリセットチューニング

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている放送局を受信します。

### 1 バンドを選びます



### 2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



82.5 3 ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

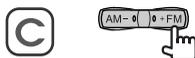
FM/AM放送を受信します。  
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴き方はEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

## オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

### 1 バンドを選びます



### 2 メニューセットモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

### 3 オートメモリー項目を選択します



### 4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。  
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

## マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

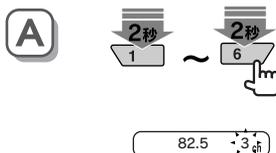
### 1 バンドを選びます



### 2 放送局を選びます

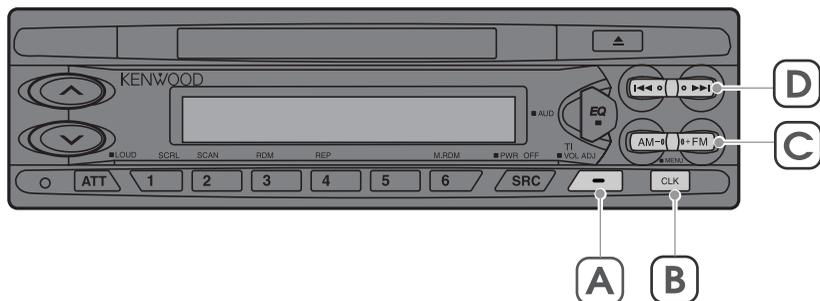


### 3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

# Name Set



## ネームセット

FM/AM放送局の名前の登録 (SNPS)や、CDに名前を登録(DNPS)します。

### 1 名前を付けるモードを表示させます

- 交通情報モード中に受信している放送局にはSNPSは行えません。
- マガジンランダムプレイ中はSNPS/DNPSは行えません。
- 本機のMDや別売品のMDチェンジャー “KMD-C30” / “RJ-480” ではDNPSは行えません。

### 2 メニューセットモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

### 3 ネームセット項目を選択します



### 4 ネームセットモードに入ります



文字入力画面になるまで押し続けます。

### 5 文字を入力する位置にカーソルを移動します



### 6 文字の種類を選びます



押すたびに、次の順で切り替わります。

- A アルファベット大文字
- a アルファベット小文字
- 1 数字/記号
- カナ カタカナ

FM/AM放送局や別売品のCDチェンジャーまたはCDプレーヤー内のCDに名前を付けて表示させることができます。

## 7 文字を選びます



押すたびに、文字を切り替えます。

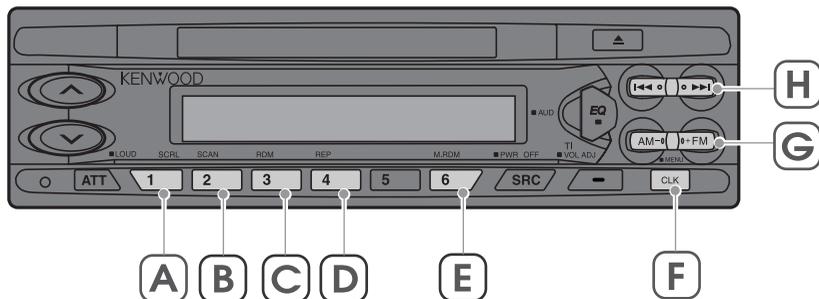
## 8 5~7を繰り返して、すべての文字を入力します

## 9 ネームセットを終了します



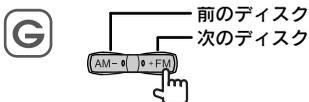
- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとSNPSで登録した名前は消去されます。
- SNPSで登録した名前はリセットボタンを押すと消去されます。
- CDプレーヤーとCDチェンジャーはそれぞれのメモリーで名前を記憶しています。このため、CDプレーヤーで名前を登録したディスクをCDチェンジャーでプレイしてもDNPSは表示されません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2～8の操作により変更できます。
- 登録できる文字数は8桁までです。
- SNPSで登録できる局数はFM放送局32局、AM放送局で16局です。
- DNPSで登録できる枚数は接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーによって異なります。詳しくは、CDプレーヤーまたはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

# External Disc Control



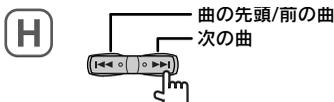
## ● ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



## トラックサーチ

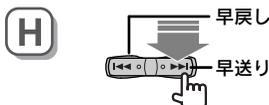
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

## ● トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。トラックリピート中はトラックナンバーが点滅し、ディスクリピート中はディスクナンバーが点滅します。



## トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。トラックランダム中はトラックナンバーが点滅します。

● を押すと、次の曲をランダムに選択します。

別売品のCDプレーヤーやディスクチェンジャーを接続しているときは、本機からコントロールできます。

### マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダム中はディスクナンバーとトラックナンバーが点滅します。

🔊 を押すと、次の曲をランダムに選択します。

### トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

#### 1 | トラックスキャンプレイを開始します



#### 2 | 聴きたい曲のところで…



その曲からプレイします。

🔊 すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

### タイトル/テキストスクロール

スクロールモードを“Manu”に設定しているときに、ディスクタイトル/CDテキストをスクロール表示します。

#### 1 | タイトル/テキスト表示にします



#### 2 | スクロール表示します

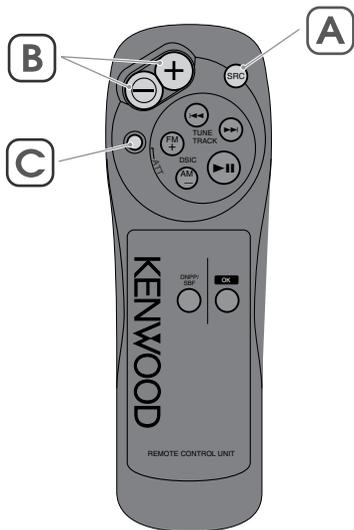


ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。

🔊 スクロールモードを“Auto”に選択中は、上記の操作を行うと、ディスクタイトル/CDテキストは最初の文字からスクロールを開始します。(スクロール設定の方法は、メニューセット16ページを参照してください)

# Remote Control (RX-780MDのみに付属)

## Common Operation

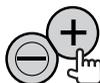


### ソース切り替え



プレイするソースを切り替えます。

### 音量調節



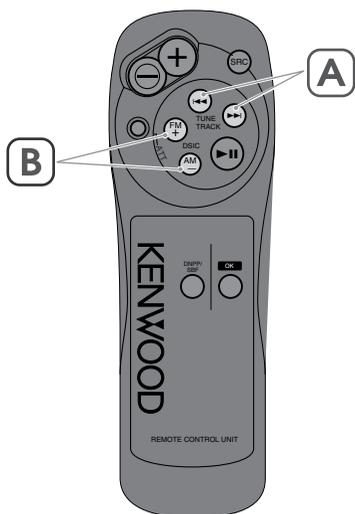
音量を調節します。

### アッテネーター



ワンタッチで音量を小さくします。  
もう一度押すと元の音量に戻ります。

## Tuner Operation



### バンド切り替え



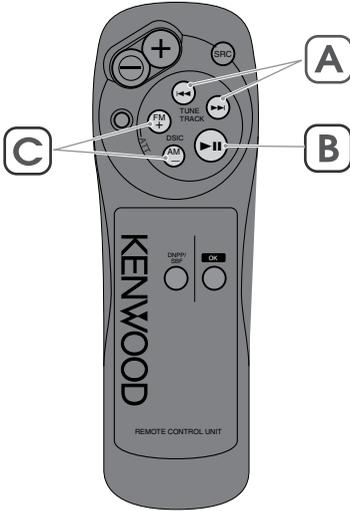
受信するバンドを切り替えます。

### 選局



受信する放送局を選択します。

## Disc Operation



### ディスクサーチ(ディスクチェンジャー)

C



プレイするディスクを選択します。

### トラックサーチ

A



プレイする曲を選択します。

### プレイ/ポーズ

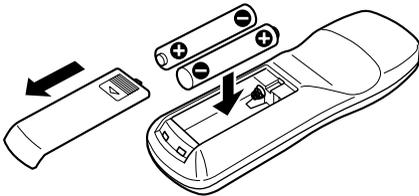
B



プレイを一時停止します。  
もう一度押すと、プレイを再開します。

## 電池の入れかた

付属の電池（単四型2本）を+/−の向きを正しく合わせて入れてください。



● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。



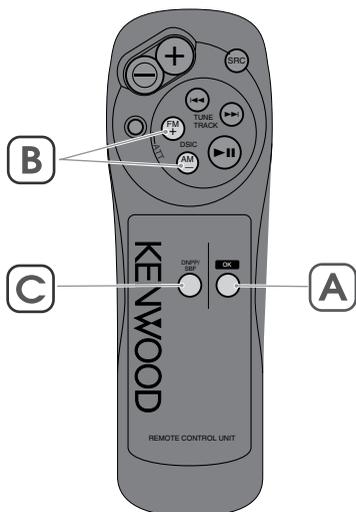
**注意**

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

# Remote Control

## SBF Operation

別売品CDプレーヤーやディスクチェンジャーが接続されているときに、DNPPでディスクを選べます。



### 1 SBFを開始します

C



“DNPP”と表示されてSBFモードになります。

### 聴きたいディスクの表示順を変えます

B



ディスク名を順送り/逆送りします。

### 2 ディスクを選びます

A



表示中のディスクをプレイします。

### SBFを中止します

C





# Help ? Operation

## 電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(42ページ)を見て正しく接続してください。

## 音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

## 操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

## 音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

## チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(42ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

## SRCボタンを押しても、CD-CH/MD-CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(42ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

## 音質が勝手に切り替わる

- dB EQUALIZERがSCANモードに設定されている。
- “dB EQUALIZER”(14ページ)を参照して、SCANモード以外に切り替えてください。

## オーディオコントロールモードにならない

- dB EQUALIZERがSCANモードに設定されている。
- SCANモード以外でオーディオコントロールを行ってください。

## MD/External Disc mode

### SRCボタンを押してもMDに切り替わらない

MDがセットされていない。

プレイするMDをセットしてください。

### MDが入らない

すでにMDが入っている。

入っているMDを取り出してから入れてください。

### MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

### MDが引き込まれても、すぐにイジェクトされる

MDに何も録音されていない。

録音/記録されたMDを入れてください。

### MDのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が $30^\circ$ を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- $30^\circ$ 以下になるように取り付けなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はMDに原因があります。

### CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。

### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。(23/28ページ)

### 曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(22/29ページ)

### チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(28ページ)

### 曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。(23/28ページ)

### ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(29ページ)

## MDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

MDイジェクトボタンをMDがイジェクトするまで押し続けてください。

## マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

## リピートプレイ、スキャンプレイ、トラックランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

## CD-R、CD-RWがプレイできない

●ファイナライズ処理を行っていない。

●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

●CD-R、CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。

●CD-R、CD-RWに対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

## ディスクチェンジャーでトラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

## ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンしてからイジェクトボタンを押してください。

## ディスクチェンジャーのディスクがプレイされない

電源がオンになっていない。

電源をオンした後、SRCボタンを押して“DISC”表示にしてください。

## ディスクチェンジャーモードに切り替わらない

本機のディスクチェンジャー入力が接続されていない。

本機のディスクチェンジャー入力を「接続」(42ページ)を見て正しく接続してください。

## ディスクチェンジャーモードを選択しても“AUX”と表示される

●O-NスイッチをO側にしている。  
●本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

●O-NスイッチはN側に設定してください。  
●対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

## Name Set/SBF

### DNPSができない

- 本機または別売品KMD-C30でMDをプレイしている。
- トラックスキャン、マガジンランダムがオンになっている。

- 本機または別売品KMD-C30、RJ-480ではMDにDNPSはできません。
- トラックスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

### SNPSができない

トラフィックインフォメーションモードで交通情報を受信している。

チューナーモードで、名前を付けたい交通情報の周波数を受信してSNPSを行ってください。(26ページ)

### ディスクタイトル表示に切り替えても“NO TITLE”と表示される

ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されていない。

ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

### ディスクタイトル/トラックタイトル表示に切り替えても“NO TEXT”と表示される

プレイ中のCDがCDテキスト対応でない。

CDテキスト対応のCDを使用してください。

### 登録したはずのステーションネームが消えた

- FM放送で33局目、AM放送で17局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機のリセットボタンを押したため。

- 登録できるステーションネームはFM放送で32局、AM放送で16局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。
- 本機のリセットボタンを押すとステーションネームは消去されます。

### 登録したはずのディスクネームが消えた

- 登録できる枚数以上のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。

- 登録できるディスクネームは接続されたCDチェンジャーによって異なります。詳しくは、CDチェンジャー付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

### ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

### SBFを選択しても“NO ACCES”と表示される

プレーヤーやマガジンに入っているCDを一度もプレイしていない。

すべてのCDをプレイしてください。

# Help ? Word

---

## Beep

SRCボタンを押したときや、ボタンを1秒以上または2秒以上押したとき、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

---

## Mono

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

---

## Scroll

(スクロール)

ディスクタイトルやCDテキストが長いためディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“Scroll Auto”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Scroll Manu”に設定しておく、表示が変わったときに1回スクロール表示するようにできます。

---

## チューニングモード

放送局の探し方を設定することができます。

Auto1に設定していると放送局を自動的に見付け出し、Auto2に設定しているとメモリーされている放送局を番号順に受信します。また、Manual（マニュアル）に設定しておく、1ステップずつ周波数を変えることができます。

---

## ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C510、KDC-C410、KDC-C406など）、MDチェンジャー（KMD-C30、RJ-480など）です。

---

## 無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- E-04** : ●ディスクが異常に汚れている。  
●ディスクが裏返しになっている。  
●ディスクに傷が多く付いている。  
●ディスクが入っていない。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。  
●ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- NO DISC** : ●ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。  
●ディスクマガジンにトレイが入っていない。
- NO TEXT** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- NO TRACK** : ●演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。  
●演奏しようとしたMDチェンジャーのMDにデータが1つも記録されていない。
- BLANK** : ●演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。  
●演奏しようとしたMDチェンジャーのMDにデータが1つも録音されていない。

## システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。  
→本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- HOLD** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- E-99** : ●ディスクマガジンに異常がある。  
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。  
●何らかの原因で正常に動作していない。  
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
-  : MDプレーヤー部が正常に動作していない。  
→MDを入れなおしてください。MDが取り出せないまたはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

# 取り付け時のご注意

## 警告



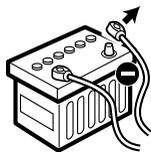
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V $\ominus$ アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの $\ominus$ 端子を外してから行ってください。  
ショート事故による感電やケガの原因となります。



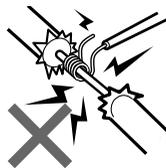
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。  
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



**禁止**



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



**実施**



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



**実施**

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



**注意**



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



**実施**



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



**注意**

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



**実施**

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

# 接続



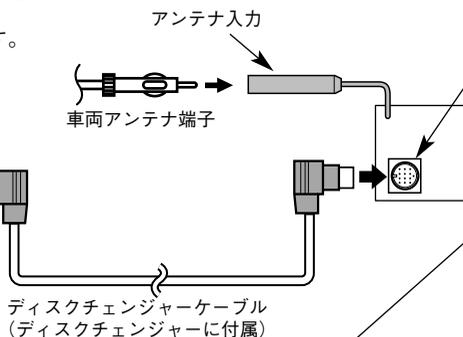
最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、  
ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

## 実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-680MD/RX-780MDに接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。



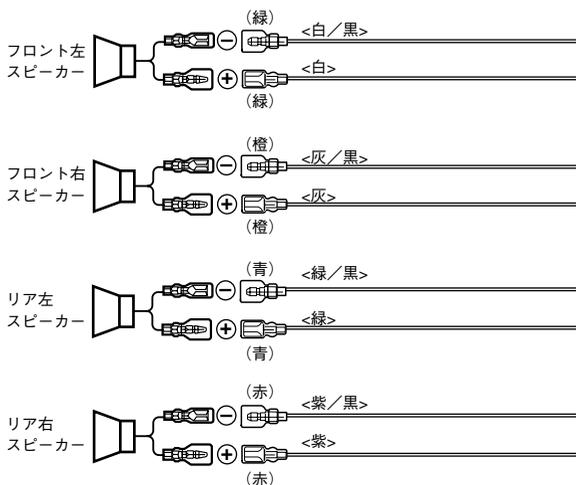
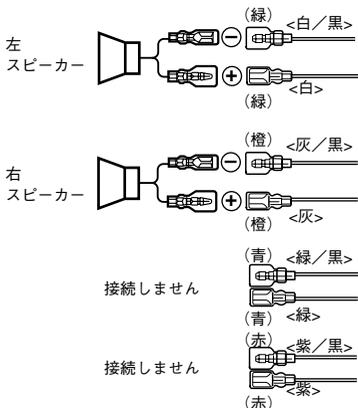
別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーの、O-Nスイッチは“N”に設定してください。

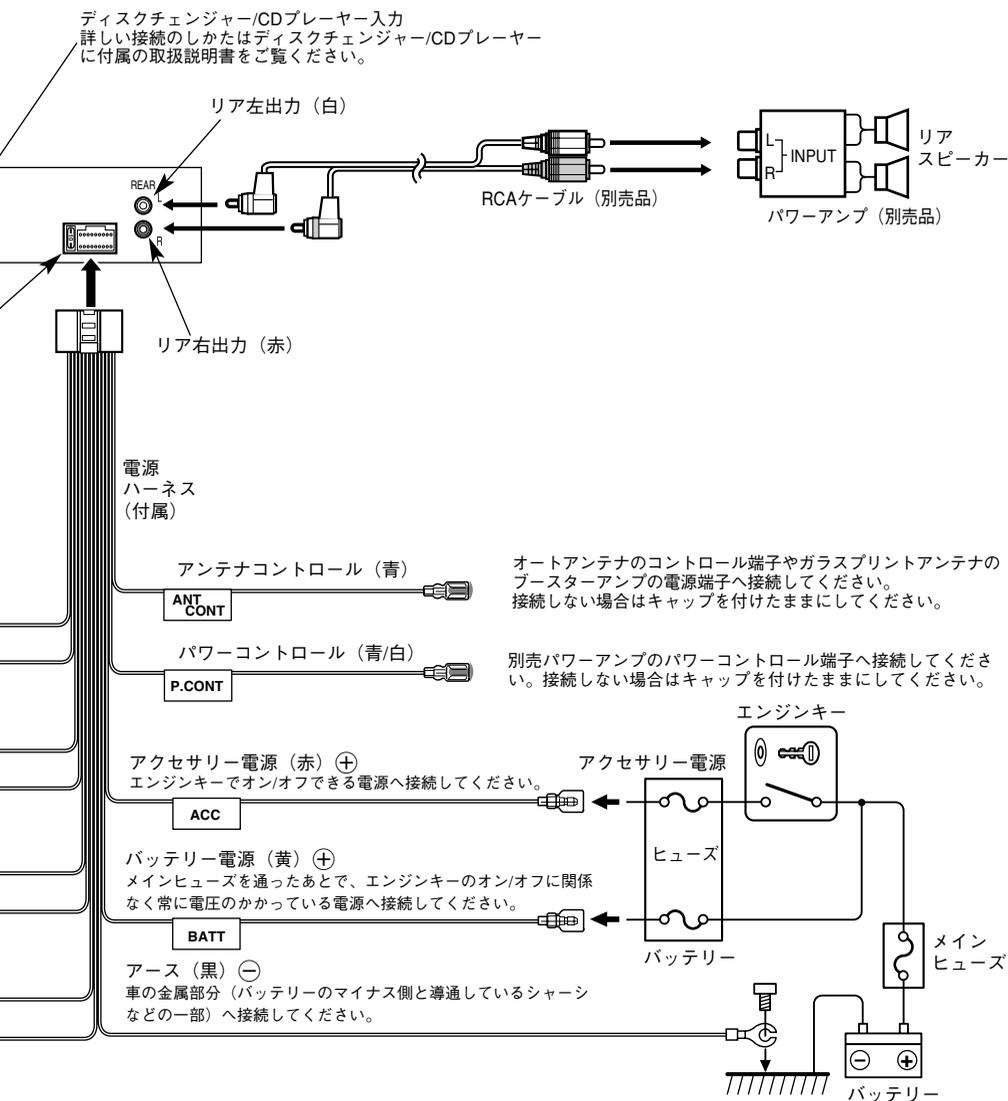


## 注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

## 2スピーカー時のスピーカー接続方法





# 取り付け

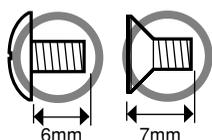
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



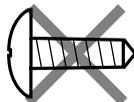
**取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。  
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ

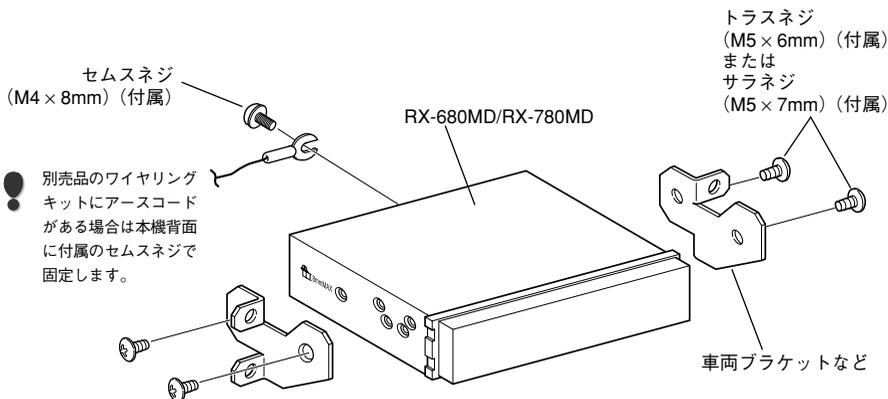


その他のネジ

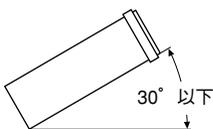


付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5 × 6mm) .....	4
	サラネジ (M5 × 7mm) .....	4
	セムスネジ (M4 × 8mm) .....	1



- 本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



- 別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。



# 保証とアフターサービス

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できない場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。  
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 ( $\pm$ 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB $\mu$ (25 $\mu$ V)

## MDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs( $\lambda$ =780 $\pm$ 20nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400~900 rpm
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz ( $\pm$ 2 dB)
高調波歪率	0.03 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

## オーディオ部

最大出力	45 W $\times$ 4
定格出力	28 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1.8 V/10 k $\Omega$
プリアウトインピーダンス	600 $\Omega$ 以下
トーン・コントロール (低音)	100Hz $\pm$ 10dB
(中音)	1kHz $\pm$ 10dB
(高音)	12.5kHz $\pm$ 10dB

## 電源部

電源電圧	14.4 V
最大消費電流	10 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 160 mm
質量 (重さ)	1.3 kg

## 付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 $\times$ 6mm)	4本
サラネジ (M5 $\times$ 7mm)	4本
セムネジ (M4 $\times$ 8mm)	1本
リモコン (RX-780MDのみ)	1個
電池 (単4型) (RX-780MDのみ)	2本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスリングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室（東京） 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9  
（大阪） 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22  
受付時間9:20～17:40（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。